第1学年 道徳指導案

令和2年2月13日(土)校時

授業者 港区立高陵中学校

KK(1組)

NM(2組)

SY(3組)

1. 主題 認め合い学びあう心を 【内容項目B-(9) 相互理解、寛容】

2. 主題設定の理由

◎ねらいとする価値について

本時では、インターネットで他者と交流する主人公の心情について考察する活動を通して、いろいろな立場によって様々なものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもとうとする道徳的判断力を育てることをねらいとしている。インターネット上でのコミュニケーションの場は年々多様化する傾向にあるが、自分と他者との個性の差異を尊重し、広い心で接することは、実際のコミュニケーションと同様に大切なことである。

資料「言葉の向こうに」は、インターネットでサッカーのA選手のファンと交流している主人公が、A選手への心ない書き込みに対し、自分もひどい言葉で応酬してしまい、サイトのファン仲間に迷惑をかけ注意され、ネットでの言葉でのやり取りの難しさや恐ろしさに直面する話である。主人公が置かれたような状況は、ネット社会にアクセスしていればだれもが経験するような出来事である。自分の発する言葉の先に、それを受け取る「顔を持った他者」がいると想像することで、ネット社会に置けるよりよいコミュニケーションのためにはどうすべきかを考えさせたい。

3. 資料 「言葉の向こうに」 出典：『中学校道徳読み物資料集』（文部科学省） P.26～P.29

4. 本時のねらい

それぞれの立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもとうとする道徳的判断力を育てる。

5. 展開の概要

	指導の流れと主な発問	学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ファンサイトとメールでのやり取りの違いは何だろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 「まじめ」 「良いイメージ」 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の意見を尊重する雰囲気をつくる。 他の人の意見をしっかり聞かせる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 指導者、範読。 問1 必死で反論する私の言葉がだんだんエスカレートするのはなぜだろう。 問2 「中傷する人たちと同じレベルで争わないで。」という書き込みを見て、加奈子はどんなことを思っているだろう。 問3 加奈子が発見した「すごいこと」とは何だろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに記入し発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 「A選手のファンだから。」 「A選手のことを悪く言う人が許せなかったから。」 ワークシートに記入し、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 「悪いのは悪口を書いてくる方だ。」 「どうして私を責めるの。」 「私は悪くない。」 ワークシートに記入し、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 「人それぞれに違う考え方があるということ。」 「いちいち怒らない・反応しない。」 「違う考えを広い心で受け止めよう。」 「相手の気持ちを考えよう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに記入させ、その後ペアで意見交換をし、最後に全体で指名し発表させる。 同じ仲間であるファンからの批判であることを抑えさせる。 問3を、本時の中心発問とする。 母親との「顔が見える」やり取りとの違いに着目させる。
終末	<ul style="list-style-type: none"> 授業の感想を書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに記入する。 <ul style="list-style-type: none"> 「顔が見えない人との交流には気をつけたい。」 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発表を肯定的に受け入れるような雰囲気をつくる。

※各クラスの担任が独自の設問を設定することがあります。